

平成 30 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人
猪名川町社会福祉協議会

目 次

I	総括	1 ページ
II	諸活動報告	
1	地域福祉活動	2～3 ページ
2	ボランティア活動	4～7 ページ
3	生活支援サービス活動	7 ページ
4	児童家庭福祉（エンゼル）活動	8 ページ
5	障害者福祉活動	8～15 ページ
6	高齢者福祉活動	15～24 ページ
7	福祉学習（教育）啓発活動	25～28 ページ
8	調査・情報活動	28～29 ページ
9	組織基盤づくり活動	29～32 ページ
10	団体支援活動	32 ページ
11	町指定管理事業	33～34 ページ
12	諸会議	34～36 ページ
III	役員の状況	37 ページ

平成 30 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

I 総括

少子高齢化、人口減少社会、地域における人間関係の希薄化、世帯規模の縮小、障害者数の増加、児童虐待件数の増、認知症や要介護認定者の増加など地域福祉を取り巻く情勢・課題は複雑多岐に渡っています。このような課題に対応するため、住民をはじめ、多様な主体の参画と協働による地域づくりや包括的な相談支援体制の構築を通じて、誰もが役割を持ち住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることのできる地域社会づくりが求められています。

当社協においても地域福祉推進計画にある「みんなでつくる安心して暮らせるまちづくり」を福祉目標に、健康寿命の促進、地域コミュニティ活性化やソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の視点を大事に持ちながら、種々の事業活動を展開してきました。

地域福祉活動においては、生活支援コーディネーターを配置し、サロン開設や健康長寿体操教室などの居場所づくりの支援、福祉委員への活動支援や生活支援サポーター講座など担い手づくりに努めました。併せてボランティア活動センターでもボランティア養成講座等開催し、地域の担い手育成に努めました。また猪名川町 SOS ネットワークへの参画など地域での見守り体制の構築に向けて、行政や警察、民生委員・児童委員、キャラバンメイトなど地域の関係諸団体等との連携を継続しています。

高齢者福祉活動においては、健康寿命を延ばす活動の一取組みとして脳の健康教室を継続実施しました。公文式と提携した、プログラムを活用し、認知症予防はもとより体操メニューや交流の場としての機能も併せ持ち工夫しながら概ね中学校区をベースに展開しました。教室開始前後の参加者の MMSE（認知機能簡易検査）では、多くの参加者が向上され、MCI（軽度認知障害）の方も減少しており、事業実施による一定の効果が出ている状況です。介護保険のデイサービスやヘルパー事業は人材確保や収支バランスなど課題も抱えつつも、大きな支障を来たすことなく事業継続することができました。

障害者福祉活動において特に希望の家すばるでは、職員体制が退職や休職などの理由で人材不足が大きく影響したものの、他部署職員による応援や年度途中の人事異動などによりサービス提供を維持することができました。本年、新たな取組として利用者および家族支援のため、土日祝日のうち月 1 日ペースですばるを開所し、サービス向上にも努めました。

安定的なサービス提供の維持・向上のためには、今後も待遇改善や働きやすい職場環境、研修などの人材育成による人材確保が必要で、自主財源事業での収支均衡化、老朽化しつつある設備投資等「人・モノ・カネ」といった組織基盤の強化に引き続き努めてまいります。

法人全体の事業収支では、平成 30 年度は収入総額 417,670,305 円（対前年度 93.4%）、支出総額 412,269,010 円（対前年度 92.5%）となり、差引額 5,401,295 円（対前年度 312.5%）の黒字となりました。

以下、ここに平成 30 年度における本協議会の諸活動についてご報告致します。

II 諸活動報告

1 地域福祉活動

(1) 小地域福祉（福祉委員）活動

福祉委員制度は、各地域での福祉活動推進のために設置されており、福祉委員活動の支援や連携を取りながら、地域のつながりづくりや地域ニーズの把握に努めました。

①福祉委員会全体会及び役員会の開催（全体会2回、役員会4回）

全体会として福祉委員の役割についての講座や福祉に関する講演会を実施し、役員会では、全体で実施する活動についての協議などを行いました。

②猪名川町 SOS ネットワークの協力

地域での見守り体制の構築に向けて、地域の関係団体等と協議を行いました。

③校区福祉委員活動として認知症サポーター養成講座を実施

認知症の方への理解を深めるために、養成講座や行方不明者捜索訓練を実施しました。

④民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り等の実施

定期的に地区・校区で交流会を実施し、顔の見える関係作りに努めました。

⑤健康福祉まつりへの参加・活動PR

地域での居場所づくりの手法についての紹介や、舞台での活動PRを行いました。

⑥社協事業等への参加

社協会員会費や赤い羽根共同募金運動などにおいて、募金の依頼などを行いました。

校区・地区ごとの主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	お花見会（民生委員・児童委員と共催）、映画会（年5回）、歌声サロン（月1回）、カラオケ、グラウンドゴルフ、チェアトレ等
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年2回）、夏祭りお手伝い、自治会・民生委員・児童委員・地域包括との交流会、認知症行方不明者捜索訓練等
阿古谷地区	ふれあい交流会（夏祭り、地域合同運動会、秋祭り、うどんづくり教室、餅つき、グラウンドゴルフ、健康講座等）、サロン活動等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア、健康教室（チェアトレとサロン）、むつみ会活動支援、サマーフェスタ、秋祭り、初釜等
つつじが丘小校区	夏祭り、寺子屋、ふれあいサロン、子育て支援、うたごえ喫茶、写経等カフェサnte（お花見、そば打ち道場、コンサート等）
白金小校区	ほっとサロン絆（月1回）、土曜サロン（隔月1回）、さくらまつり参加、研修会（施設見学）、校区民生委員との交流会等
楊津小校区	グラウンドゴルフ大会、校区定例会、民生委員・児童委員との連携・交流会（すこやか食生活講座等実施）及び合同研修会、施設見学等
大島小校区	各地区でのサロン活動（年1回、月1～4回）や戸別訪問、校区行事手伝い、民生委員・児童委員との連携・交流会等

(2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

平成30年度は、新規利用者数は、増加しましたが、体調不良や入院等も重なり、実績としては昨年度より減少しました。毎月1回のおたより「お弁当だより（翌月の献立表も掲

載)」の発行や利用者を対象にしたアンケートでは、「とても美味しかったので、(事業) 継続して欲しい」との意見が多数ありました。

月別配食実績表

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	134	182	138	136	125	134	168	130	128	133	136	134	1,678
1回あたりの平均配食数	33	36	33	33	31	33	33	32	32	33	34	34	33
平成29年度	152	156	151	153	155	148	141	172	140	140	139	95	1,742
1回あたりの平均配食数	38	39	37	38	38	37	35	34	35	35	34	31	36

(3) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方(認知症高齢者・知的障がい者など)が安心して、暮らしていけるよう福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理等、自立生活への支援を行いました。事業活動については、年1回、社協だよりにてPR啓発を行いました。新規相談が7件、次年度に支援契約に向けて調整する事案もありました。生活支援員による支援業務については、生活保護受給者1件の支援を引き続き行いました。

(4) 福祉相談マネジメント活動事業

生活福祉資金の貸付事業と自立相談支援事業との関係強化に取り組みました。各種相談事業や民生委員・児童委員、地域関係者との連携を図りながら生活困窮者に対して包括的支援ネットワークづくりに取り組みました。

①生活福祉資金の相談・貸付

新規相談15件、貸付に至るものではなく相談のみとなりました。フードバンク支援が4件、引越し支援1件となりました。

②自立支援に向けて関係機関との連携

貸付に至らないケースはワーカーズコープ、県民局、福祉課、子ども課などと随時連携。ワーカーズコープ主催の連携会議への出席。資金貸付に至るケースは少なく、県民局やワーカーズコープとの連携が必要なケースは増加。担当職員が経験を積みにくい状況でもあり、1件1件のケースを共有することでスキルアップを目指していきます。

③心配ごと相談

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、ふらっと六瀬及び日生公民館において、原則月3回、火曜日の午前10時から12時まで民生委員・児童委員が輪番で相談を受けつけています。平成30年度の相談件数は4件でした。(平成29年度実績：1件)

2 ボランティア活動

ボランティア活動センターの運営事業

ボランティア活動の場の提供やコーディネート、情報提供等を通じ、より多くの住民がボランティア活動を通して地域社会の関わる「きっかけづくり」活動を進め、福祉向上を目的に実施しました。

①ボランティアに関する相談受付、コーディネート連絡調整

相談受付処理状況

(単位：件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他	平成30年度実績	平成29年度実績
一般住民	29 (1)	2	0	0	0	0	0	6	37	48
ボランティア・市民活動団体	7	3	5	6	21	2	7	23	74	63
福祉施設・病院	0	714 (949)	0	2	0	0	0	1	717	725
行政機関	0	21 (56)	0	7	0	0	1	4	33	35
社協	0	180 (1077)	5 (3)	1	3	0	0	1	190	192
福祉団体	0	1 (1)	1	0	0	0	3	3	8	7
学校・教育機関	0	2 (4)	28 (68)	12	0	0	0	3	45	46
その他	0	12 (64)	0	0	0	0	0	0	12	0
合計	36	935	39	28	24	2	11	41	1,116	1,116

()の人数＝相談・依頼に対して活動したボランティア人数

ボランティアの活動延べ人数は、2,228名（平成29年度実績1,995名）となり、依頼者ごとの主な活動内容は、以下のとおりです。

ボランティア活動内容

一般住民	傾聴活動、活動や作業の手伝い
福祉施設・病院	話相手(傾聴)、活動や作業の手伝い、行事手伝い、レクリエーションボランティア等
行政機関	講演会等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、イベントの手伝い等
福祉団体	イベント等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等

学校・教育機関	点字の学習、聴覚障害の学習、認知症サポーター養成講座などの指導等
---------	----------------------------------

②ボランティアに関する情報提供・啓発

ア ボランティアの啓発

「健康福祉まつり」において、ボランティア活動のリーフレット配布・ボランティア募集チラシの配布、舞台PRなどを通じて、ボランティア活動の啓発を行いました。また、登録ボランティアグループがパネル展示や活動のPR、ボランティア体験等を実施しました。また、社協だよりに登録ボランティアグループの紹介を掲載しました。本年度より、イオンモール猪名川店で、ボランティアの啓発イベントを毎月1回開催、傾聴ボランティア「みみい〜な」などを中心に実施しました。引き続き毎月第4月曜日に傾聴サロンを実施し、他グループの参加も促し啓発の機会を設けていきます。

参加ボランティアグループ及び啓発内容

	グループ名	内 容
1	音訳ボランティア「リヴィエール」	録音(音訳)体験・活動PR
2	調理ボランティア「えぷろん」	活動PR(ふれあい弁当)
3	手話サークル「マジック」	手話体験・活動PR
4	要約筆記「ゆきんこ」	要約筆記の体験・字幕付き映画の上映・活動PR
5	点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験・活動PR
6	パソコンボランティア 「夢ネットいながわ」	パソコンを利用したオリジナルカード作り・活動PR
7	傾聴ボランティア「みみい〜な」	傾聴サロン・活動PR

イ 啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「いっしょにやろうボランティア」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レットトライボランティア」を配布。冊子は学校での福祉学習体験や地域住民にも配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用して情報発信に努めました。

(共同募金の地域配分金を活用しています)

③機材の貸出

町内施設やボランティアグループなどへ、機材の貸出を行いました。聴覚障がい者が参加する講演会などには、ヒヤリンググループ。施設での職員研修などで使用する高齢者疑似体験セットなどの貸出を行いました。

④ボランティアグループへ助成

住民の社会福祉活動への主体的な参加を促進し、ボランティア活動の育成、及び活性化を図ることを目的に猪名川町社会福祉協議会が、ボランティア活動を行うボランティアグループに対して活動経費の一部を助成しています。登録ボランティアグループ8団体に対し助成金申請に基づき適正に助成金交付を行いボランティア活動育成事業に取り組みされました。次年度も活動状況に応じ適正に助成金の交付を行っていきます。

⑤兵庫県ボランティア・市民活動共済などの取り扱い

今年度の件数は144件、加入者数は1,461名でした。(平成29年度139件・1,375名)その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は、災害が多発した為10件、加入者数は10名となりました。

⑥ボランティア活動センター運営委員会・ボランティアグループ連絡会開催

ア 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設け5名の委員(ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で構成。ボランティア活動センターの事業・助成金について協議しました。

イ ボランティアグループ連絡会

ボランティア団体8グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・助成金申請や報告方法説明等を行いました。

⑦災害ボランティア活動センター運営に係るマニュアルの策定

災害ボランティア活動センター運営マニュアル(案)の策定を行いました。今後、マニュアルを検証し災害ボランティアセンター立ち上げ訓練などを計画していきます。

⑧ボランティア養成講座の開催

「第6次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア養成講座」をはじめ、開催日時の設定を工夫し、町内事業所へポスターやチラシ配布などのPR活動を行いました。また、講座の様子を社協だよりに掲載するなど地域住民に興味を持って参加できるボランティア講座の企画し啓発に努め、ボランティア活動の担い手の育成に努めました。

	講座名	開催日 (期間)	開催場所	講師名	参加者数 (29年度実績)
1	サマーボランティアスクール2018	7月21日(金) ～8月31日(金)	総合福祉(ゆうあい)センター等	各施設職員等	22名・延べ48名 (20名・45名)
2	手話ボランティア養成講座(前期)	7月4日～ 11月21日 毎週水曜日 計20回	総合福祉(ゆうあい)センター	・町ろうあ協会 ・手話サークル マジック	14名・延べ217名 (12名・215名)
3	災害ボランティア養成講座	2月2日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター	・関西大学社会 安全研究センター長 河田 恵昭氏	36名 (37名)
4	災害登録ボランティア交流会	6月9日(土) 10月13日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター	—	30名
5	音訳ボランティア養成講座	9月14日～ 11月9日 毎週金曜日 計9回	総合福祉(ゆうあい)センター	・音訳ボランティア「リヴィエール」 ・県視覚障害者福祉協会 藤竹 とし子氏	9名・延べ65名 (11名・延べ67名)

6	要約筆記啓発講座	7月5日・12日・26日 8月2日 毎木曜日	総合福祉(ゆうあい)センター	・要約筆記「ゆきんこ」 ・県難聴者福祉協会 藤田 美佐子氏 ・県立神戸聴覚特別支援学校 柳瀬 尚子氏 ・当事者 有本富美子氏	19名・延べ72名 (21名・延べ73名)
7	ボランティアきっかけ講座	12月12日・19日 1月16日・23日・30日 毎水曜日	総合福祉(ゆうあい)センター	・心理カウンセラー 水無月 波氏 ・生涯学習アドバイザー 松尾 やよい氏 ・地域支援登録ボランティア 山本 敬子氏	26名・延べ54名 (17名・延べ50名)
8	ボランティア交流会	1月30日(水)	総合福祉(ゆうあい)センター	—	25名

⑨西日本豪雨災害支援ボランティアの実施

ひょうごボランティアプラザの助成を受け、災害支援ボランティアバスを運行しました。

実施日：8月31日(金)
場 所：倉敷市真備町 新田ミニサテライト
内 容：被災家屋等の土砂撤去・被災ゴミの搬出等
参加者：22名(社協職員2名含む)

3 生活支援サービス活動

福祉用具貸出・相談活動事業

平成5年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具(車イスや歩行器等)を中心に基本6ヵ月以内無料(一部物品搬出料の負担あり)で貸出を実施しています。本年度は、福祉用具業者に指導いただき、安全に使用できる物品を見直し在庫の整理等を行うとともに、貸出時に使用安全点検を利用者と共に行い、用具を安全に使用してもらえるように改善しました。

貸出件数

(単位：件)

貸出用具	車いす	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他(杖・入浴関連)	合計
平成30年度	75	2	17	8	28	130
平成29年度	71	2	19	5	26	123

4 児童家庭福祉（エンゼル）活動

福祉を育む仲間づくり活動・子ども相談・支援活動

①ちびっこボランティア講座

小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催しました。本年度は、普段体験することが出来ない、車いすバスケットを当事者である車いすバスケット選手と一緒に体験してもらい、障がいが特別でないことを感じてもらえる機会としました。福祉やボランティアへの関心を持つきっかけとなるような講座内容を検討し興味をもって参加してもらえるよう企画していきます。

開催日：11月17日（土） 10：00～12：00

場 所：猪名川町スポーツセンター アリーナ

内 容：「車いすバスケットを体験しよう」

講 師：伊丹スーパーフェニックス SAKAI suns 大内 秀之氏 ・樋口 一裕氏

参加者：14名+11名（保護者・兄弟）（平成29年度実績 参加者30名）

②おもちゃ図書館（手作りおもちゃ制作・地域への貸出事業）

ボランティアが製作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。健康福祉まつりで、PRをした結果、個人の貸出件数が増加、おもちゃ作りのボランティアの協力により、毎月1回活動し、おもちゃ作成にも積極的に取り組みました。合わせてニーズの高い木のおもちゃなどは、既製品の購入で対応しています。

平成30年度貸出件数：88件（平成29年度貸出件数：94件）

（共同募金の地域配分金を活用しています）

5 障害者福祉活動

（1）啓発活動・団体支援

①イナワイ等の地域交流会啓発活動

平成24年度来、障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等への啓発を目的として、当事者のエンパワメントを大切にしながら取り組んでいます。今年度は“農”から“音楽”へテーマを変え、打楽器「カフォン」の製作から演奏までの指導を受け、参加者全員で交流を図り実施しました。

開催日：1月19日（土）・2月16日（土）・3月16日（土） 10：00～11：30 計3回

場 所：障害者福祉センターおよび社会福祉会館大ホール

内 容：打楽器「カフォン」の製作・練習・合奏

講 師：中山 拓人氏

参加者：1月18名、2月12名、3月14名 計44名参加

（一部共同募金の地域配分金を活用しています）

②セルフヘルプグループの活動支援

セルフヘルプグループ（障害関係 4 団体）について、諸活動の協力および活動支援を実施しました。

- ア 身体障害者福祉会 イ 身体障害者父母の会
ウ 手をつなぐ育成会 エ こころ猪名川家族会

(2) ふれあい交流活動

①ふれあい運動会の実施

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいをづくり、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、6月に開催しました。学校等へチラシを配布したことにより、小学生の参加を含めほぼ昨年並みの参加となり、交流が図れました。

開催日：6月23日(土)10:00~13:00 場 所：猪名川町文化体育館（イナホール） 参加者：150名（平成29年度 参加者：150名）
--

②ふれあいバスツアーの実施

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」を実施しました。京都嵐山、京都水族館、京都おぼんざいのバイキングやイルカショーを楽しみながら参加者同士の交流や親睦が図れました。

開催日：5月19日（土） 場 所：京都嵐山・京都水族館 参加者：当事者32名・ボランティア2名・職員6名（平成29年度 参加者30名） （共同募金の地域配分金を活用しています）

③障がい児・者プール教室の実施

障がい児・者がプールでのレクリエーションへの参加機会確保と促進、自立支援および障がい児・者を地域で支えるきっかけづくりを目的として、障がい児・者を対象としたプール教室を開催しました。

開催日：7月27日（金）、8月3日（金）、8月10日（金）、8月17日（金） 講 師：久保 美弥氏 西田 一二美氏 ボランティア：4名（平成29年度4名） 参加者：9名 延べ人数25名（平成29年度 参加者11名 延べ人数27名）

(3) 障害者総合支援法事業

①多機能型事業所「希望の家すばる」の運営（就労継続支援B型、生活介護）

ア 就労継続支援B型事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、就労の機会、生産活動やその他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行います。今年度は、長期欠席の利用者が多く前年度比較で減収となりましたが、利用者工賃の支給においては、クッキー製造販売・内職作業や受託作業等に積極的に取り組み

月額平均工賃が1万円を超えました。今後は、利用者の確保に努めるとともに利用者工賃の更なる増額に向けて取り組んでいきます。

利用人数・実績額

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	実績額
平成30年度	実利用者数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	3,142	23,567 千円
	延利用者数	278	290	303	278	277	234	302	285	241	223	195	236		
平成29年度	実利用者数	17	17	18	18	18	17	17	16	15	15	15	15	3,458	26,596 千円
	延利用者数	295	307	345	307	313	287	287	266	257	249	256	289		

工賃支給状況

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成30年度	工賃支給額	159,500	132,500	179,200	191,850	157,200	161,300	175,750
	平均個人支給額	10,633	8,833	11,947	12,790	10,480	10,753	11,717
平成29年度	工賃支給額	160,750	114,350	125,600	127,000	137,350	104,750	83,800
	平均個人支給額	9,455	6,726	6,977	7,055	7,630	6,161	4,929
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成30年度	工賃支給額	192,850	138,450	165,000	183,750	253,099	2,090,449	
	平均個人支給額	12,857	9,230	11,000	12,250	16,873	11,614	
平成29年度	工賃支給額	148,300	134,800	200,700	119,400	147,924	1,604,724	
	平均個人支給額	9,269	8,986	13,380	7,960	9,861	8,199	

イ 生活介護事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、入浴、排せつ、食事等介護や生活支援、創作活動やレクリエーション等の日中活動の支援を行います。利用実績は、新規利用者を2名受け入れたことで延べ利用者数及び実績額は前年度に比べて増加しました。今後は、個別支援計画をベースに利用者の障害特性に応じたきめ細かい支援

が出来るよう人材育成に努め、サービスの質の向上を目指します。

利用人数・実績額

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	実績額
平成30年度	実利用者数	19	19	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21		47,421 千円
	延利用者数	313	338	346	317	352	290	379	365	358	346	335	340	4,079	
平成29年度	実利用者数	20	19	20	20	19	19	19	19	18	18	19	19		46,491 千円
	延利用者数	324	326	371	335	343	338	349	320	323	286	304	336	3,955	

②障害者ホームヘルプサービス事業の実施（居宅介護・重度訪問介護）

障がい（身体・知的・精神）があるため、日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談）サービスを実施しました。前年度に比べると若干の減収とはなりましたが、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援に努めました。

利用人数・実績額

(単位:人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成30年度	実利用者数	10	10	12	9	10	10	10	11	11	9	10	8		4,348 千円
	延利用者数	107	116	123	103	120	92	105	117	93	91	103	104	1,274	
平成29年度	実利用者数	11	15	15	16	11	12	12	10	11	10	10	10		4,625 千円
	延利用者数	122	148	185	125	108	119	114	111	111	107	106	110	1,466	

③地域活動支援センター事業

町内在住の障がい（精神疾患）のある方を対象に、地域の中で自分らしく暮らすことを目的とし、創作活動プログラムや社会との交流促進プログラムを提供します。本年度は、障がい者団体から依頼された巾着袋作りに取り組み、社会貢献が出来ました。また、三田あすなろ相談支援事業所のピアサポーターとの研修会・意見交換会を実施し、当事者間の交流の場を持ちました。利用者の中には、自立生活（一人暮らし）をスタートされた方もおられました。今後は、様々な利用者の想いに寄り添い、過ごしやすい居場所づくりに取り組みます。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	実利用者数	15	14	15	14	15	14	14	15	12	14	13	11	1,396
	延利用者数	120	111	111	102	142	100	140	135	88	110	111	126	
平成29年度	実利用者数	15	13	14	14	14	14	13	15	15	14	13	16	1,351
	延利用者数	116	121	114	113	98	103	112	109	106	113	101	145	

(4) 地域生活支援事業

①障害者療育支援事業

運動面や情緒・知的面などの発達の遅れが心配される児童を対象として、基本的な生活習慣の獲得や社会性の発達、運動機能の維持・向上などを目的とした事業です。障がいのある児童の健全育成の一助として、理学療法、作業療法、言語療法訓練について、専門機関から訓練士の派遣を受けて実施しました。今年度は継続訓練終了後のフォローアップを新たに開始し、成長・発達に応じた支援を行いました。来年度は、夏期休暇等長期休暇に日程設定の上、フォローアップを計画します。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	実利用者数	52	45	48	43	47	46	51	54	51	26	56	55	916
	延利用者数	81	76	86	73	65	65	87	96	79	39	87	82	
平成29年度	実利用者数	27	45	48	45	50	49	52	51	50	45	47	52	934
	延利用者数	44	73	86	73	75	90	94	85	86	65	78	85	

②日中一時支援事業

障がいのある方に、一時的な日中活動の場を確保し、家族の就労支援や介護者の一時的な休息を目的に、必要な生活支援サービスを提供します。今年度は、よりニーズに応えるべく早朝専任の職員を配置し、積極的な受け入れを行い、充実した支援を目指しました。実利用者数は増加していませんが、一人当たりの利用回数が伸びたことで前年度に比べると延べ利用者数は増加しました。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	実利用者数	5	5	4	5	4	3	4	4	5	4	5	3	163
	延利用者数	12	16	15	11	9	9	13	16	19	16	20	7	
平成29年度	実利用者数	3	6	5	6	5	4	4	5	6	4	4	5	129
	延利用者数	12	14	13	15	13	8	12	8	8	10	6	10	

③移動支援事業

障がいのある方が、充実した日常生活を営むことができるようガイドヘルパーが付き添い、社会参加に必要な外出時の介助、支援を行います。今年度は従事可能なガイドヘルパーが少なく、ニーズに十分な対応ができず、利用実績が前年度に比べ大幅な減少となりました。

今後は、ガイドヘルパーの人材確保に努めるとともに、利用者の受け入れを可能な限り行います。

利用状況

(単位:人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	実利用者数	5	6	4	3	3	2	5	2	2	2	3	2	67
	延利用日数	7	9	6	4	6	3	6	5	5	5	6	5	
平成29年度	実利用者数	8	8	9	7	7	5	6	4	2	2	2	3	196
	延利用日数	29	29	31	24	20	15	16	15	4	4	4	5	

④音訳・点訳広報紙の発行

声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、町広報・社協だより・議会だより・人権いながわ・選挙公報等の音訳・点訳への編集・発行を行いました。また、本事業のPRチラシ・音訳CDを配布し啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布しています。今年度の利用者数3名、延べ人数で69名(平成29年度の利用者数3名、延べ人数75名)

(5) 相談支援（就労支援）センターの運営事業

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう相談支援事業を実施します。また、地域の関係機関等との連携・協働により支援体制の強化を図ります。

①総合相談支援の実施

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、相談支援（生活支援・就労支援）を実施しました。障がいのある方や、その家族が安心して地域で暮らせるように、様々な相談に応じて、必要な情報の提供や、障害福祉サービスを利用するための支援を行うほか、権利擁護の為に必要な援助を実施しました。相談開始の早い段階でサービス利用の為に計画相談に移行し、専門機関につなぐ事ができた為、総合相談としての延べ件数は平成 29 年度に比べ減少しました。

種別相談等延べ件数（基本相談）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	身体	11	15	11	12	3	8	14	12	8	3	2	4	103
	知的	6	9	12	8	15	16	11	13	17	6	11	7	131
	精神	28	37	53	30	16	23	16	15	18	6	13	5	260
	重症心身	0	1	0	0	9	11	6	0	4	2	0	0	33
	発達	24	12	29	16	9	10	5	6	8	8	8	6	141
	高次能	0	2	0	1	2	1	2	4	1	1	0	0	14
	その他	6	6	8	5	8	4	4	3	8	8	5	6	71
合計		75	82	113	72	62	73	58	53	64	34	39	28	753
平成29年度	身体	10	0	11	14	17	8	6	5	3	9	7	7	97
	知的	13	17	16	11	16	11	16	7	14	19	6	11	157
	精神	47	50	50	32	32	21	44	23	15	25	31	17	387
	重症心身	2	0	2	0	0	0	1	1	1	0	5	3	15
	発達	12	5	18	13	12	12	8	12	4	1	7	10	114
	高次能	0	2	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	8
	その他	23	29	21	7	3	9	6	9	8	2	1	8	126
合計		107	103	119	78	83	61	81	57	45	56	58	56	904

②サービス等利用計画の作成等

サービス等利用計画の作成は、福祉サービスを活用し、生活の質を向上させるために作る計画です。障がいのある方（児）が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより、きめ細く支援を実施しました。また、その計画が本人にとって適切かどうか、新たな課題はないか定期的なモニタリングを行いました。

支援状況

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成30年度	実利用者数	30	38	23	24	15	17	30	27	47	17	46	21	335	6,291千円 (延 1,782件)
平成29年度	実利用者数	33	43	21	23	20	29	29	46	45	7	22	14	332	6,145千円 (延 2,268件)

③就労支援業務 (就職支援・職場定着支援)

障がいのある方が就労する為の支援や就労が定着する為の支援を実施しました。阪神北障害者就業・生活支援センターやハローワークなどの関係機関と連携しながら就労相談、定着支援を行いました。

④自立支援協議会(専門部会の運営)

猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会(生活・就労・教育)事務局として各部会に参加し、障がいのある方(児)が安心して暮らせる町づくりのための課題についての検討を行いました。新たな取り組みとして、就労支援部会では、就労支援の啓発として講演会や施設見学を実施しました。

⑤障害支援区分認定調査の受託

猪名川町から調査依頼を受け、サービスの利用を希望する障がいのある方や家族に対して、障がいや生活の状況などについて調査を行いました。

今年度実績 43件(平成29年度実績 20件)

6 高齢者福祉活動

(1) 介護保険事業

①高齢者デイサービス事業

利用者の心身機能の維持や介護者の介護負担の軽減などを目的として、入浴や食事等の支援を日帰りで提供しています。介護予防を目的とした訓練や職員への研修の実施などを行い、新たな利用者の支援につながるよう努めましたが、介護度の高い利用者等の利用頻度が減ったこともあり、前年度に比べると減収となりました。

利用人数・実績額

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成30年度	実利用者数	84	83	82	77	79	73	78	76	73	76	76	74	59,404 千円	
	延利用者数	697	739	705	585	658	590	685	666	600	559	597	597		7,678

平成29年度	実利用者数	77	77	76	80	80	80	80	79	77	74	76	80	61,564 千円
	延利用者数	639	678	647	679	688	697	710	686	623	559	607	723	

②訪問介護事業

要介護者等の在宅生活支援のためホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行っています。町内居宅介護支援事業所と連絡調整をしながら、利用者の受け入れを可能な限り行いました。

利用人数・実績額

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成30年度	実利用者数	56	58	61	61	65	63	65	65	61	66	61	60	6,627	20,549 千円
	延利用者数	535	599	566	565	625	539	633	575	494	500	489	507		
平成29年度	実利用者数	69	65	66	68	69	67	67	66	63	63	61	60	7,076	22,372 千円
	延利用者数	609	583	601	600	642	600	633	606	548	525	538	591		

(2) 高齢者生活支援事業

①軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会との繋がりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供します。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を利用いただき日常生活支援を実施しました。昨年度に比べ利用者一人当たりの利用回数が減り減収となりました。

利用人数・実績額

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
平成30年度	実利用者数	7	6	6	7	9	9	8	8	9	6	7	6	412	645 千円
	延利用者数	39	35	27	26	37	35	43	46	36	31	30	27		
平成29年度	実利用者数	6	8	7	9	9	8	7	9	8	9	6	6	596	1,059 千円
	延利用者数	43	41	52	52	43	64	57	58	53	51	45	37		

②生きがい活動支援事業

高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの支援として猪名川町総合福祉（ゆうあい）センターを中心に運動系・文化系等の教室を開催し、閉じこもり予防の推進にも努めました。

教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
水中体操教室	5月～7月	6回	11名
初級水泳教室	5月～7月	6回	10名
演歌ビクス教室	5月～7月	6回	25名
刺繍糸でステッチ小物教室	5月～7月	3回	9名
おいしく食べて健康に教室	5月～7月	3回	4名
なつかしの童謡・唱歌教室	6月～7月	6回	26名
初級水泳教室	9月～12月	6回	9名
演歌ビクス教室	9月～11月	6回	20名
水中体操教室	9月～12月	6回	10名
健康音読教室	9月～11月	3回	13名
コミュニケーション麻雀教室	9月～11月	4回	12名
ちぎり絵教室	10月～12月	3回	8名
水中体操教室	1月～3月	6回	8名
初級水泳教室	1月～3月	6回	8名
演歌ビクス教室	1月～3月	6回	23名
スポーツ吹き矢教室	1月～3月	8回	11名
健康カラオケ教室	1月～3月	5回	19名
女子力アップ講座	1月～3月	4回	15名
計	93回		241名 (延べ1,106名)

平成29年度 実施回数104回 参加者数235名 (延べ1,169名)

(3) 地域支援事業

①地域包括支援センターの運営

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケアを推進するための事業です。地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門知識や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワーク構築に取り組みました。

ア 総合相談（権利擁護含む）

サービス利用に関する初期相談や、虐待、成年後見制度の相談、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、認知症と独居、精神疾患等）を抱える相談など、民生委員・児童委員や介護サービス事業者、病院の医療相談員等の多岐にわたる団体・機関から受けました。複合的な課題により支援困難で継続的関わりが必要なケースが増え、延

べ相談件数が増加しました。今年度は、認知症若しくはその他の精神疾患による被害妄想により近隣住民間のトラブルになるケースの相談が増加しました。個別の地域ケア会議等を通じて関係機関や必要に応じて地域住民とも連携を図りながら支援していく機会が増えていきます。

相談件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	実件数	93	76	93	79	84	65	76	91	86	94	100	117	1,054
	延件数	154	148	164	134	155	93	147	166	139	170	160	180	1,810
平成29年度	実件数	17	23	33	44	24	61	80	75	72	92	92	82	695
	延件数	74	82	100	123	92	95	111	116	109	153	139	136	1,330

イ 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の方の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが実施されるよう必要な援助（相談・ケアプラン作成・サービス調整等）を行います。今年度は、居宅介護支援事業所への委託件数が減少し全体としては29年度と大きな件数の変化はありませんでした。

プラン作成件数

(単位：件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	地域包括	129	128	137	135	128	129	134	131	133	129	123	124	1,560
	居宅介護支援事業所へ委託	216	216	221	225	216	216	217	219	212	211	207	212	2,588
合計		345	344	358	360	344	345	351	350	345	340	330	336	4,148
平成29年度	地域包括	129	124	125	130	122	122	116	119	126	122	123	126	1,484
	居宅介護支援事業所へ委託	208	201	217	221	226	231	233	240	231	225	229	218	2,680
合計		337	325	342	351	348	353	349	359	357	347	352	344	4,164

ウ 介護支援専門員（ケアマネジャー）支援

支援困難ケースを抱える介護支援専門員からの相談に随時対応し、必要に応じて共同でケースに関わりました。また、介護支援専門員連絡会やサービス事業所連絡会のサポート役として、企画・運営にも参加しました。介護支援専門員の技量向上（スキルアップ）支援や地域とつなぐパイプ役等を担いました。支援にあたり、近年増えたと感じる精神疾患を持つ利用者・家族に対しての理解を深めたいと、介護支援専門員からの要望もあり、介護支援専門員連絡会にて研修を実施しました。また、オープン講座の認知症当事者講演会への参加も促しました。

介護支援専門員連絡会における研修会

開催日：3月8日（金）13：30～15：30
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター
内 容：「精神疾患を学び、支援を考える」
講 師：立垣 祐子氏（兵庫医療大学看護学部療養支援看護学領域（精神看護学））
参加者：35名

エ 成年後見相談

今年度からの新規事業として、成年後見制度の啓発・相談機能の強化のため、予約制で毎月第3金曜日10時から12時に個別相談（2枠、1枠1時間）を実施しました。相談員は、兵庫県社会福祉士会「ばあとなあ兵庫」からの派遣です。相談件数は15件で、主に成年後見制度についての説明、申請手続きの方法、財産管理や施設・病院への入所入院関係についての相談でした。また、年2回の成年後見制度普及啓発講座を実施しました。

成年後見普及啓発講座

開催日：9月1日（土）10：00～12：00
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター
内 容：『教えて！気心の知れた人を後見人にする方法～任意後見制度について～』
講 師：コスモス成年後見サポートセンター会員 行政書士 鳥越 俊彦 氏
参加者：18名

開催日：2月2日（土）10：00～12：00
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター
内 容：『情報交換会～ざっくばらんにお話しましょう～』
講 師：権利擁護センターばあとなあ兵庫 認定社会福祉士 木高 壽子 氏
参加者：12名

②生活支援体制整備事業

介護保険制度改正により始まった介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、町の委託を受け、生活支援コーディネーターを配置しています。「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、公的機関や地域の多様な機関・団体と連携し、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援、構築を目指す事業です。

本年度も介護予防や地域での居場所づくりを目的として、町から委託をうけている健康長寿体操教室のモデル事業、ふれあい・いきいきサロン開設支援等助成事業を実施しました。

また、地域での新たな担い手育成として「生活支援サポーター養成研修」を開催、生活支援を行う人材育成に取り組みました。

③認知症高齢者見守り事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的としています。

利用実績

	利用者数	利用延べ時間
平成 30 年度	4 名	63 時間
平成 29 年度	5 名	81.5 時間

④家族介護支援事業

ア 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを地域住民の手でつくることを目指す、全国的な取り組みです。本年度、認知症サポーター養成講座 16 回、行方不明者発見・捜索訓練 5 回開催し、654 人の認知症サポーターを養成。累計サポーター数は 3,606 人となりました。講師役のキャラバン・メイトと、猪名川町職員への養成講座、イオンモール猪名川従業員向けの養成講座と行方不明者発見捜索訓練、小学校育成室や小・中・高校での養成講座、3 中学校区での行方不明者発見・捜索訓練などに取り組み、世界認知症デイに合わせた図書館とのコラボレーション啓発活動、健康福祉まつりでの啓発活動などを実施しました。

	開催回数（回）	サポーター数（名）
平成 30 年度	21	654
平成 29 年度	25	454
平成 20 年度～累計	141	3,606

イ 家族介護教室

家族や地域住民等の援助者を対象に、介護方法、介護予防、健康づくり等の知識及び技術の習得を目的に開催しました。前年度も好評だった認知症当事者講演会を開催しました。

開催日：3月20日（水）
場 所：猪名川町文化体育館（小ホール）
内 容：『認知症でも笑顔のまま～伝えたい当事者の気持ちと思い』
講 師：山田 真由美 氏
参加者：105 名

ウ 介護ほっこりおしゃべり会

介護している家族や当事者が気軽におしゃべりする場を提供し、介護の抱え込みや介護負担感の軽減、当事者同士の仲間づくりを目的に、認知症カフェ（44名の参加）や家族会を開催しました。

エ オレンジ cafe（認知症カフェ）開設

認知症の方とその家族、地域の方々、専門職などが気軽に参加できる場所を増やし、介護の相談のきっかけや地域とのつながり作りを行いました。

2月に「認知症カフェを考えるワークショップ」を開催し、21名が参加し、意見交換を行いました。介護ほっこりおしゃべり会の状況を見て検討し、平成31年3月に一本化しオレンジ cafe（認知症カフェ）の第1回をサピエの空き店舗にて開催しました。レザークラブのワークショップ、コーヒーショップの方とも協働し、41名の参加がありました。

⑤地域介護予防活動支援事業

ア 脳の健康教室モデル及び自主教室運営支援

平成29年度より認知症予防・集いの場の確保・ボランティアの活動の場の提供を目的として、「脳の健康教室」を実施しています。公文監修の計算と音読、数字盤を組み合わせる前頭葉の活性化に効果があるという研究結果に基づいたカリキュラムに取り組み、また猪名川町独自に簡単なチェア体操を取り入れ、学習と運動を組み合わせ提供後、交流の場として茶話会を行い、またモデル教室から自主グループになったところへサポートを行いました。今年度は、「脳の健康教室 中央公民館教室」として2期目のモデル事業を10月から半年間、毎週水曜日10:00~11:30で計25回実施しました。受講者19名、先生役のサポーター23名でスタートし、無事修了式を迎えられた受講生は最終18名となりました。今年度、自主グループとなった日生教室（脳トレサロン）へは、公文教材費の現物支給、会場の提供、運営に関するアドバイス等の支援を行いました。

イ 脳の健康教室サポーター養成講座

平成29年度から開始し、今回2期目開催となる「脳の健康教室」の教室サポーター養成講座を3回コースで8月から9月にかけて実施しました。1日目は夢こらぼ主宰の松尾 やよい氏をお招きし「話し上手、聞き上手、レッツコミュニケーション！」と題し、サポーターにとって重要なコミュニケーションについての講義を、2日目は公文学習療法センターの方にお越しいただき、サポーターの実際を学び、3日目は実際に楽習（学習）のロールプレイを行うなど、実践に沿った形での講座を行いました。参加者24名中23名が新たにサポーターとして誕生し、10月から開始した中央公民館モデル教室に参加していただきました。

ウ 健康長寿体操教室運営支援

平成26年10月より、健康寿命を延ばすために、身近な地域での体操教室が展開されています。本年度には、楊津小校区と広根の2地区が3ヶ月間のモデル事業を実施し、いずれの地区も自主教室として継続実施されています。教室は現在17ヶ所で実施されており、9月には自主教室を運営している代表の方に集まっただき、情報交換会を行いました。

健康長寿体操教室一覧

	教室名		教室名
1	若葉いきいき体操教室セカンド	10	北田原すみれ倶楽部体操教室
2	旭ヶ丘健康体操クラブ	11	あこやクラブ健康体操部会
3	いきいき体操松尾台教室	12	つつじが丘健やか体操
4	伏見台チェアトレーニング教室	13	猪名川荘苑健康長寿体操教室
5	パークタウン東体操教室	14	やないづ健勝会健康体操教室
6	猪名川台ちょこっと体操	15	柏原老人クラブ健康体操教室
7	東山いきいき元気倶楽部	16	ふらっと体操教室
8	清水健康体操教室	17	広根健康長寿体操教室
9	若葉いきいき体操教室ファースト		

エ ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となり身近な場所で交流を深める居場所づくりを立ち上げるための支援を行いました。平成30年度は、新たに伏見台、清水、杉生、仁頂寺・川向の地域でサロンが開設され、事業が開始となった平成29年度から合わせると14箇所のサロンが開設となり、高齢者をはじめ地域の住民の居場所となりました。

ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援状況

	地域名	平成30年度申請状況	平成29年度申請状況
1	猪名川荘苑	継続支援	開設支援
2	広根ニューハイツ	申請対象外（自主運営）	開設支援
3	若葉	継続支援	開設支援
4	旭ヶ丘	継続支援	開設支援
5	島	未申請（自主運営）	開設支援
6	伏見台	継続支援	開設支援
7	松尾台	継続支援	開設支援
8	白金	未申請（自主運営）	開設支援
9	猪名川台	継続支援	開設支援
10	つつじが丘	未申請（自主運営）	開設支援
11	清水	開設支援	
12	伏見台	開設支援	
13	杉生	開設支援	
14	仁頂寺・川向	開設支援	

⑥認知症初期集中支援促進事業

医療や福祉につながっていない等の認知症の方やその家族に対し、早期に関わる体制の構築、支援強化に努める事業です。地域包括支援センターの看護師、保健師、主任介護支援

専門員等が短期集中で当事者への相談支援に関わり、支援チーム員（認知症サポート医、作業療法士、主任介護支援専門員、看護師、保健師、町福祉課職員）で、年間10回のチーム会議を開催しました。新規8件、終了8件、モニタリング中6件（次年度2件追加）、専門医2名受診という結果です。

【最終引継ぎ先】	件数（件）
ケアマネと介護保険制度の利用	5
見守り中、かかりつけ医と連携	3
介護保険未申請	2
入院	1

⑦介護予防普及啓発事業

平成29年度からの新規事業として、食を通じた介護予防と健康寿命延伸の啓発活動に取り組んでいます。今年度は試食付きの講座を「すこやか食生活講座」と題して広報を行い、老人会や地域のサロン等にて、講話に加えて試食会または食事会を実施しました（平成29年度は9地区、11回、延べ229名）。

すこやか食生活講座

日付	団体名	地区	内容	参加人数
6月20日	よもぎ料理教室		料理教室&講座	9
8月25日	六瀬地区民生委員福祉委員交流会	六瀬	講座&試食会	21
10月27日	伏見台サロン いっぷく亭	伏見台	講座&食事会	26
10月31日	清水サロン	清水	講座&試食会	10
11月15日	内馬場老人会	内馬場	講座&食事会	15
12月12日	猪名川台いこいの会	猪名川台	講座&食事会	10
1月19日	仁頂寺・川向サロン	仁頂寺・川向	講座&試食会	5
1月23日	荘苑体操教室	猪名川荘苑	講座&食事会	18
2月9日	みどり会（松尾台老人会）	松尾台	講座&試食会	19
3月1日	東山クラブ	木津東山	講座&食事会	12
3月9日	仁頂寺・川向サロン	仁頂寺・川向	講座&試食会	6
3月19日	清水サロン	清水	講座&食事会	11
3月21日	県住サロン	白金	講座&食事会	9
3月24日	阿古谷まちづくり協議会	阿古谷	講座&食事会	29
計 12地区/14回				200

外部講師による講演会（平成 29 年度は計 2 回、約 400 名）。

日付	講演会	講師	開催場所	参加人数
8 月 5 日	健康長寿講演会	後藤恭子氏（タニタの社員食堂初代管理栄養士）	文化体育館 大ホール	200
11 月 24 日	健康づくり講演会 （試食付き）	深澤譲氏（兵庫栄養調理製菓専門学校）	社会福祉会館	122
3 月 8 日	健康づくり講演会	河内清美氏 （兵庫県栄養士会）	日生公民館	15
3 月 22 日	健康づくり講演会	河内清美氏 （兵庫県栄養士会）	中央公民館	29
計				366

個別等での相談活動や食事指導（平成 29 年度は 331 件、476 名）

指導・相談形態	件数（件）	対象人数（名）
家庭訪問指導	49	49
個別相談	29	29
集団指導	18	242
デイサービスにおける食事形態個別対応	198	198
計	294	518

（４）地域ふれあい事業

①ふれあいの場運営事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らし、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成 16 年度より実施しています。平成 30 年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

利用実績

	開所日数（日）	延べ利用数（名）	子供利用（名）	高齢者利用（名）	その他（名）
平成 30 年度	281	4,090	2,956	987	147
平成 29 年度	290	4,622	3,008	1,357	257

②高齢者スポーツ助成事業・文化活動助成事業

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（平成 30 年 10 月 17 日開催、参加者約 220 名）及び文化活動「演芸発表会」（平成 31 年 2 月 6 日開催、参加者約 200 名）の運営助成を行いました。（本事業は、赤い羽根共同募金配分金により実施しています）

7 福祉学習（教育）啓発活動

福祉教育活動事業

①福祉教育協力校の指定（町内小学校6校・中学校3校の指定）

地域住民の福祉活動への理解と関心を深めるため、幼少期から高齢期に至るまで生涯を通じて幅広く福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動などを推進することを目的とし、助成金を交付しています。

各学校規模に応じ校区内の高齢者との交流やボランティア体験等の福祉体験を積極的に取り組まれました。引き続き、継続し申請に基づき助成金交付を行います。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

②福祉教材の貸出

福祉教育の推奨を目的に、福祉学習に使用できる物品の貸出を行いました。福祉学習では、高齢者疑似体験や車いす体験学習時に使用する物品の貸出が多く、点字板・視覚障がい者体験ゲームなどの貸出も行いました。より多くの福祉学習を取り入れられるよう、啓発に努めます。

③学校・地域等での福祉講演会・体験学習の講師紹介等

「点字学習」「聴覚障がいの学習」については、点訳ボランティア「てんてまり」・手話サークル「マジック」の協力を得て実施しました。

平成26年度より実施されている認知症サポーター養成講座は、今年度も依頼があり実施しました。また、高校での高齢者疑似体験や車いす体験の相談、福祉体験活動が増加しました。これから地域ニーズも多様化しつつある中で、学校の希望に沿った内容で進めることができるよう、ボランティアや講師の方とも調整すると共に、職員も積極的に学校や地域に向き、地域の方々の協力を得ながら福祉学習に取り組んでいきます。

福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催月	内容	講師	対象者	人数
猪名川小学校	6月	車いす体験	社協職員・地域支援ボランティア（5名）	4年生	58名
		高齢者疑似体験	社協職員・地域支援ボランティア（4名）	4年生	58名
	9月	聴覚障がい・手話体験	手話サークル「マジック」（4名）	4年生	58名
		点字の体験	点訳ボランティア「てんてまり」（5名）	4年生	58名
11月	福祉講演会（車いすバスケット体験）	大内 秀之氏	全校生徒	340名	
楊津小学校	5月	福祉講演会（視覚障がいについて）	三上 洋氏	全校生徒	60名
	10月	点字の体験	点訳ボランティア「てんてまり」（4名）	4年生	10名
		聴覚障がいと手話体験	手話サークル	4年生	10名

			「マジック」(3名)		
	11月	①総合福祉(ゆうあい)センターの見学 ②すばる利用者との交流 ③高齢者疑似体験 ④車いす体験	社協職員 地域支援ボランティア (1名)	4年生	10名
		認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (8名)	4年生	10名
大島小学校	10月	点字の体験	点訳ボランティア 「てんてまり」(4名)	3・4年生	16名
		福祉講演会 (視覚障がいについて・ミニコンサート)	前川 裕美氏	全校生徒	53名
	2月	認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (4名)	5年生	12名
		車いす体験	社協職員・地域支援ボランティア(1名)	5年生	12名
松尾台小学校	9月	点字の体験	点訳ボランティア 「てんてまり」(6名)	4年生	52名
	11月	福祉講演会 (盲導犬について)	関西盲導犬協会	全校生徒	284名
	2月	聴覚障がい・手話について	手話サークル 「マジック」(5名)	2年	42名

※ () 人数は、活動したボランティアの人数

④学校・地域等での出前講座の実施

地域や学校と“顔の見える関係づくり”を構築し、それぞれのニーズに応じた福祉学習を支援し、福祉に関する関心を高めることを目的に、出前講座を地域包括支援センターが中心に行いました。これまでは、社協職員で、地域の老人会、福祉委員会等で開催していましたが、平成29年度から、地域の事業所専門職員と地域住民の出会い場づくりを目的に、町内事業所の専門職員による出前講座講師登録制を開始しました。全25回開催うち11講座で地域事業所の専門職員で開催することができました。

出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所	講師 地域事業所 /専門職員
1	4月11日	認知症予防・脳トレ	46名	若葉むつみ会 パークハウス集会所	地域包括支援センター
2	4月26日	ロコモ体操、薬	8名	白金県住サロン 県住集会所	しろがね薬局 /薬剤師
3	5月8日	高齢者福祉研修	51名	民児協定例会 社会福社会館	地域包括支援センター
4	5月17日	介護が必要になったら	14名	白金福祉委員会 白金まち協会館	地域包括支援センター

5	6月7日	転倒予防	12名	杉生老人会 杉生自治会館	レイス治療院 ／マッサージ 指圧師
6	6月12日	脳トレ	5名	銀山老人会 悠久の郷交流スペース	地域包括支援 センター
7	6月19日	SOS ネットワーク	127名	民児協合同研修会 イナホール	地域包括支援 センター
8	6月22日	おしえて、介護保 険	91名	シニア大学 社会福社会館	地域包括支援 センター
9	6月28日	口腔ケア	11名	旭ヶ丘体操クラブ 旭ヶ丘自治会館	地域包括支援 センター
10	7月1日	脳トレ体操	19名	西畑老人会 西畑公会堂	天河草子 ／柔道整復師
11	7月15日	おしえて、認知症 と介護	25名	伏見台自治会福祉部 伏見台集会所	地域包括支援 センター
12	7月25日	成年後見制度	44名	若葉体操教室 若葉自治会館	地域包括支援 センター
13	9月11日	薬の話	11名	白金プラチナクラブ 白金自治会館	ライフオート 薬局／薬剤師
14	10月18日	薬の話、ロコモ	12名	しろがね薬局 薬剤師	しろがね薬局 ／薬剤師
15	10月21日	健康講座（肩こ り、こむら返り）	18名	旭ヶ丘コスモスクラブ ゆうあいセンター	天河草子 ／柔道整復師
16	10月30日	季節に合わせた健 康の話	5名	銀山老人会 銀山公会堂	訪問看護せい ふう猪名川 ／看護師
17	11月1日	シニア世代のため のいきいきライフ デザインセミナー	5名	白金県住プチサロン 白金県住集会所	メットライフ生命 ／ファイナンシャルプラ ンナー
18	11月2日	風邪・インフルエ ンザを予防する食 事	11名	西畑老人会 西畑自治会館	地域包括支援 センター
19	2月13日	インフルエンザ予 防、脳トレ	50名	若葉むつみ会 レックスパーク集会所	地域包括支援 センター
20	2月15日	高齢期に多い疾患 等	30名	若葉熟年クラブ 若葉自治会館	訪問看護ステ ーションせい ふう猪名川 ／看護師
21	2月23日	リンパドレナージ	13名	いっぶくてい 伏見台自治会館	リンパドレナ ージ ／セラピスト
22	3月1日	認知症カフェっ て？	8名	NPO 法人猪名川在宅ケ アを考える会 ネットトヨタ猪名川店	地域包括支援 センター

23	3月7日	風邪について一緒に考えてみませんか	14名	杉生老人会 杉生自治会館	ベリタス病院 ／認定看護師
24	3月8日	元気にトシを重ねましょう、脳トレ	22名	つつじが丘老人会 ダイヤモンドクラブ アザレアホール	地域包括支援 センター
25	3月28日	元気にトシを重ねましょう	10名	旭ヶ丘体操クラブ 旭ヶ丘自治会館	地域包括支援 センター
合計			延べ662名/17団体 (平成29年度 延べ540名/24団体)		地域包括18回 事業所7回

⑤福祉学習を考える集いの開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践されています。そこで、福祉学習の取り組み方について、基本的な考え方や、学校や地域で身近にできる福祉学習の取り組み方を学び、猪名川町の福祉学習がより充実したものとなることを目的に実施しました。

開催日：8月7日(火)10:00～12:00
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 研修室
参加者：小・中学校教員及び学校関係者 計12名
内 容：「認知症サポーター養成講座」
講 師：キャラバン・メイト

⑥トライやるウィークへの協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されており、受け入れを行いました。

受け入れ状況

(単位：人)

受入期間	学校名	受入人数(29年度)
5月21日～5月25日	猪名川中学校	2(6)
5月28日～6月1日	中谷中学校	2(3)
	六瀬中学校	1(2)

8 調査・情報活動

啓発・情報活動事業

社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域住民やボランティアと一体となった福祉啓発イベントの運営や社協だより、ホームページ掲載内容の充実にも努め、タイムリーな情報提供等、福祉情報について広報活動に取り組みました。

①社協だよりの発行

機関紙である「社協だより」を5月、7月、10月、1月の年4回（1回12,000部）発行し、全世帯に配布しました。これまで6ページで構成していましたが、8ページに増やすことで掲載内容の充実と、読みやすい紙面への工夫を行いました。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

②ホームページの充実

ホームページにて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。特に社協開催の講座の周知を図り、受講者の増加に努めました。

③町広報との連携

講座等の案内は、町広報とも連携し、毎月数件の情報を「広報いながわ」へ掲載しています。また、「いなぼうネット」での案内も実施しました。

④社協リーフレット・パンフレット作成

各事業等にて講座等のチラシを作成するとともに、社協会費のリーフレットを作成し、社協事業等の案内を行いました。作成したチラシ等は、ホームページでアップするとともに、「ふれあい伝言板」（役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置）にて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。

⑤健康福祉まつりでの啓発活動

だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会をめざして、住民相互の理解と交流を深め、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、地域福祉の推進の啓発に取り組みました。

本年度は、視覚障がい者の疑似体験コーナーを設け、今後の地域でのボランティア活動や地域福祉などへの認識を持っていただくきっかけ作りとしました。

また、おもちゃ図書館のコーナーも設置し、手作りおもちゃの啓発及び、手作りおもちゃボランティアと来場者とが交流する良い機会となりました。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

9 組織基盤づくり活動

(1) 組織・基盤づくり活動事業

社会福祉法等の関係法令を遵守し、地域から信頼され、事業運営の透明性を確保しながら、より適正で効率的な法人運営に取り組みました。本年度は、改正社会福祉法後、初めての所轄庁による実地指導監査を受け、法人運営事業においては特段の指導指摘もなく、適正な法人運営となりました。

①定款・諸規程等の整備・改廃

本年度における理事会及び評議員会の開催、諸規程等の制定及び一部改正議案については、本報告書「12諸会議」を参照。

②地域福祉推進計画の評価

地域福祉推進計画に基づき実施する事業・活動について、住民の立場や専門的な視点から

評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的に、評価委員会を開催しました。

第6次地域福祉推進計画策定後、4年目の各事業の評価、現状と課題（評価）及び次年度の目標について報告を行うとともに、委員の方々より地域の課題について協議、意見交換を行いました。

③猪名川町社協職員災害時行動の手引きに基づく研修・訓練

職員の入退職ごとに災害時連絡網の更新を実施し、年2回、緊急連絡伝達訓練を実施しました。

④役員・職員研修の充実

サービスの質の向上を目的としてOJTや派遣研修、職員研修等を織り交ぜながら実施しました。職員研修では接遇マナー研修や災害対応研修など計5回実施。（H29年度計5回実施）各事業所においても専門性の向上を目指し、各種派遣研修へ参加・報告を行いました。

（2）自主財源促進活動事業

社協会員の増強

地域福祉の充実と社協基盤の確立を図るための財源となるため、各自治会を通じ啓発を行い会員の加入促進に努めました。本年度は、自治会での会費の納入方法（各自治会の会費予算化となり自治会会計からの定額一括納入）が変わるなどの影響もあり厳しい状況となりました。

会員会費の納入状況

（単位：円）

会員の種類	会費額	平成30年度		平成29年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,477,939	49自治会	2,952,682	49自治会
賛助会員	5,000	255,000	48事業所	250,000	46事業所
団体会員	5,000	10,000	2団体	10,000	2団体
計		2,742,939		3,212,682	

（3）共同募金運動への協力事業

①赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として募金活動を実施しました。今年度は、住民の方に地域福祉活動を知っていただくため、きっかけづくりを重視した活動を町全体の取組みとしました。町内49自治会、学校、法人、民生委員・児童委員、猪名川町職員、福祉団体等の多くの方々の協力を得ることができました。

募金実績

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
平成30年度	2,316,000	2,188,606	94.5%
平成29年度	2,200,000	2,179,224	99.0%

募金別実績額

(単位：円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,391,103	学校募金	138,324
街頭募金	58,811	イベント募金	3,302
法人募金	296,590	その他(募金箱)	11,216
職域募金	289,260	-	-
合計		2,188,606	

②歳末たすけあい運動の実施

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができる一助として、「つながる ささえあう みんなの地域づくり」のスローガンのもと12月1日から12月31日の間、運動に協力しました。

募金実績

(単位：円)

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	630,550	
2	街頭募金	39,084	12/1 サピエ・イオン猪名川 12/2 道の駅 12/3 日生中央駅
3	募金箱	6,975	
4	預金利子	0	
5	その他募金	9,069	
6	前年度繰越金	176,225	
合計		861,903	

配分内訳

(単位：円・件)

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	50,000	10,000	5	相談支援等より
2	準要保護世帯(基本額)	460,000	5,000	92	教育委員会より
3	準要保護世帯(2人目以降)	180,000	3,000	60	
4	繰出金	54,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	117,903	0	0	
合計		861,903		157	

(4) 善意銀行の運営事業

住民や団体等から福祉向上のため預託される金品・物品等貴重な浄財を、必要な人々や団体の福祉活動に役立てるよう運用を行いました。

①運営委員会による適正な運営

運営委員会を開催し、善意銀行の適正な運用について協議・報告を行いました。

②金銭・物品の預託と払出

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	471,300円	16件	一般	415,000円	・摂丹地区里親会 ・ひょうご子ども家庭福祉財団1件 ・特定非営利活動法人フードバンク関西1件 ・緊急払出し1件 ・歳末助け合い運動配分5件 ・災害見舞金6件 ・地域サロン助成6件
	指定	130,000円	1件	指定	0円	・地域福祉活動への指定
	合計	601,300円		合計	415,000円	
物品	福祉用具	5件	・車イス ・ポータブルトイレ ・タッチアップバー	福祉用具	3件	町内福祉施設などへ払出し
	その他	25件	・米(30 ^{キロ} ×1) ・衣類、オムツ類 ・ふきとり布 ・手芸用品 ・日用品、石鹸 ・洗濯機	福祉用品、その他	14件	
	合計	30件		合計	17件	

③地域支援事業実施団体への助成

ふれあい・いきいきサロン継続支援助成として、町が認めた6団体に対して助成金(1団体につき25,000円)の交付を実施しました。

助成実績

団体名			
1	旭ヶ丘ふれあいサロン	4	猪名川荘苑ほっとサロン
2	伏見台サロンいっぷく亭	5	若葉絆の輪
3	松尾台校区まち協サロン	6	猪名川台あそぼう会

10 団体支援活動

福祉団体の支援事業

福祉関係団体の自主的活動に向けて、事務局として各当事者団体の活性化と活動の充実に向け団体活動の継続的支援に取り組ましました。

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| ①民生委員児童委員協議会 | ②老人クラブ連合会 | ③遺族会 |
| ④英霊にこたえる会 | ⑤身体障害者福祉会 | ⑥身体障害者父母の会 |
| ⑦手をつなぐ育成会 | ⑧こころ猪名川家族会 | |

1 1 町指定管理事業

猪名川町総合福祉センターの管理・運営事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動の場として、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行いました。本年度、センター利用者数の減少については、給湯配管の更新工事のため一部利用休止期間が発生した事によるものです。利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなりました。

①利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム
30年度	件数	40,899	4,725	420	231	1,414
	人数	40,899	4,725	4,694	3,475	11,177
29年度	件数	49,137	5,006	398	229	1,402
	人数	49,137	5,006	5,216	3,548	11,219

※一般浴室 9月1日～10月30日 給湯配管工事（町予算）のため休止

※室内プール 10月1日～10月30日 給湯配管工事（町予算）のため休止

②施設修繕一覧表

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
5月	福祉センター1階厨房内食器洗浄機ガラス窓破損	35,100
6月	福祉センター1階教養娯楽室畳表替え	302,400
	福祉センター1階厨房内洗面排水及び一般浴室シャワーハンドル	44,820
7月	福祉センター1階室内プールシャワー用循環ポンプ更新	498,960
	福祉センター1階厨房内食器洗浄機開閉扉不良	44,820
	福祉センター1階厨房内ガスフライヤーガス栓更新	12,204
8月	福祉センターコミュニティドーム消防設備感知器配線不良	226,800
	福祉センター1階一般浴室排気ファンモーター更新	162,000
	福祉センター1階厨房内給湯器COセンサー更新	19,008
9月	福祉センター1階・地下1階・地下3階出入口マット更新	642,470
	福祉センター1階厨房内食器洗浄機不具合緊急点検	28,620
	福祉センター1階厨房食堂フロアシャッター昇降不良	192,564
	福祉センター1階教養娯楽室襖更新及び2階障害者談話室畳表替え・襖更新	212,738
10月	福祉センター1階トイレ排水不良	21,816
	福祉センター1階自動扉開閉不良	410,400
11月	福祉センター2階・1階・地下1階エレベーター点字案内板改修	288,360
	福祉センター1階屋外階段誘導灯破損	248,400
	福祉センター1階一般浴室照明更新	401,760
	福祉センター1階一般浴室洗面鏡更新	181,440
	福祉センター1階室内プール更衣室扉開閉不良	16,092
	福祉センター1階浴室換気扇動作不良	16,200

2月	福祉センター1階自動扉開閉不良	410,400
	総合福祉センターコミュニティドーム消防設備感知器更新	831,600
3月	福祉センター1階一般浴室シャワー水栓更新	385,128
	福祉センター1階トイレ手洗い水栓更新	150,660
	福祉センター地下1階機械室内ボイラー昇温センサー不良	194,400
	障害者福祉センター給湯器更新	405,000
	福祉センター1階事務所内ブラインド更新	45,684
福祉センター1階食堂フロアファンコイル制御装置不良	156,600	
計		6,586,444

1.2 諸会議

以下、法人運営に係る諸会議について報告します。

①理事会開催状況

(理事定数9名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
30.5.31	理事会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 出席状況 採決状況	平成29年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 平成29年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 理事候補者について 評議員の推薦候補者について 猪名川町社会福祉協議会ボランティア活動センター設置規程の一部改正について 平成30年度第1回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事5名 監事1名 第1号～第6号すべて議決
30.9.21	理事会 (2回)	総合福祉センター	議案第7号 出席状況 採決状況	猪名川町地域包括支援センター運営規程の制定について 理事8名 監事1名 第7号議決
30.12.7	理事会	理事会の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第9条)	議案第8号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第8号議決
31.1.29	理事会 (3回)	総合福祉センター	議案第9号 議案第10号 議案第11号	平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について 理事の候補者について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程の全部改正について

			議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 出席状況 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会ゆうあいデイサービスセンター「介護予防・日常生活支援総合事業」第1号通所介護（介護予防通所介護相当）運営規程の全部改正について 猪名川町社会福祉協議会ゆうあいヘルパーステーション運営規程の全部改正について ゆうあいヘルパーステーション指定訪問介護「介護予防・日常生活支援総合事業」第1号訪問事業（介護予防訪問介護相当）運営規程の全部改正について 平成30年度第2回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事8名 監事2名 第9号～第15号すべて議決
31.3.22	理事会 (4回)	総合福祉センター	議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 出席状況 採決状況	平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算（第2号）について 平成31年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 平成31年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会常務理事の報酬及び就業等に関する規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について ゆうあいヘルパーステーション指定居宅介護事業・指定重度訪問介護事業運営規程の全部改正について 平成30年度第3回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事9名 監事2名 第16号～第24号すべて議決

②監事会開催状況

(監事定数2名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
30.5.18	監査	総合福祉センター	平成29年度事業報告・収入支出決算監査 監事2名出席

③評議員会開催状況

(評議員定数 17 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
30. 6. 15	評議員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 出席状況 採決状況	平成 29 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 平成 29 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 理事の選任について 評議員 10 名 理事 3 名 監事 1 名 第 1 号～第 3 号すべて議決
31. 2. 7	評議員会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 4 号 議案第 5 号 出席状況 採決状況	平成 30 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算 (第 1 号) について 理事の選任について 評議員 14 名 理事 3 名 監事 1 名 第 4 号・第 5 号すべて議決
31. 3. 29	評議員会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号 出席状況 採決状況	平成 30 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算 (第 2 号) について 平成 31 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 平成 31 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会常務理事の報酬及び就業等に関する規程の一部改正について 評議員 16 名 理事 3 名 監事 1 名 第 6 号～第 9 号すべて議決

④評議員選任・解任委員会

(委員定数 5 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
30. 6. 7	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 出席状況 採決状況	評議員推薦候補者の選任について 委員 4 名 第 1 号議決

Ⅲ 役員の状況

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況（平成31年3月31日現在）

①理事（定員7名以上9名以内）

（任期 平成29年6月13日～平成30年度に関する定時評議員会の終結時まで）

※順不同

会長	鍋谷 将
副会長	桑江 朝武
理事	畑中 祥宏
〃	坂田 哲啓
〃	平井 邦子
〃	村山 興治
〃	喜多 護
〃	井ノ上 利昭
常務理事	福井 和夫

②監事（定員2名以内）

（任期 平成29年6月13日～平成30年度に関する定時評議員会の終結時まで）

監事	家門 正幸
監事	今村 恵子

③評議員（定員14名以上17名以内）

（任期 平成29年4月1日から選任後4年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結時まで）

※順不同

評議員	上殿 孝弘	評議員	住野 満
〃	宮本 浜子	〃	太田 はるよ
〃	北中 昭夫	〃	安藤 邦美
〃	戸田 絹代	〃	鈴木 裕治
〃	端野 久美子	〃	中元 進
〃	高岡 美津子	〃	伊藤 茂子
〃	安達 隆	〃	板橋 汎子
〃	今泉 友幸	〃	関口 捷子
〃	石井 誠		